

Privatization Waves and Market Share in a Mixed Oligopoly Model

静岡県立大学国際関係学部 飯野光浩

Abstract

Mixed oligopoly モデルでは、ほとんどの場合、すべての公企業が民営化された private oligopoly と比較して、民営化の影響を分析している。しかし、実際はすべての公企業が民営化されることはなく、一部の公企業が民営化され、残りは公企業のままである。本論文では、Matsumura and Shimizu(2010)のモデルに Matsumura (1998) の部分的に民営化された公企業を導入した単純なモデルを構築して、企業数の変化による民営化の影響を分析した。主な結論は次の2点である。1つは、部分的に民営化された公企業の場合でも、Matsumura and Shimizu(2010)の privatization waves が成立する。もう一つは、Lahiri and Ono(1988)のように、市場シェアで考えても privatization waves が成立し、非効率的な公企業のシェアが低い場合、その公企業を退出させる民営化は厚生を増加させる。